



テーマ 学悠館で強みを磨き、無限の可能性と輝く未来を創造する。

本年度の目指す生徒の姿

○夢や希望を抱いて未来を描き、その実現にチャレンジする生徒

○自分の能力に気づき、主体的・自律的な学びに真摯に取り組む生徒

○多様な価値観を尊重して他者と協同し、共に成長する生徒

取組の視点

○よりよく生きるための基盤となる健やかな心と身体を育てる

○生徒の強みや可能性を引き出し、主体的・自律的な行動につなげる

○仲間との信頼関係を築き、協力できる豊かな感性を育てる

○選択と集中を意識して、効率的な教育活動を進める。

努力点	学校自己評価					学校関係者評価
	本年度の具体的方策	評価指標	評価結果		次年度以降への改善策	
安全・安心な 学校生活の提供	スクールカウンセラーと連携し、教員間の共通理解を前年以上に深め、生徒指導に生かす。	生徒・保護者アンケートの相談に関する質問への回答で、肯定的評価が生徒・保護者とも60%以上ならA、生徒・保護者のどちらかが60%以上ならB、どちらも60%未満ならC。 〔昨年度：生徒95.4%、保護者96.9%〕	A 生徒 93.9% 保護者94.4%	A	スクールカウンセラー及び教職員間の情報共有を進め、生徒が安全・安心な学校生活を送れるように支援する。	スクールカウンセラーとの連携が適切に行われている。コロナやいじめ対策も明解に構造化され、生徒・保護者が親身な対応を実感できている。引き続き安全・安心な学校生活を提供してほしい。
主体的・対話的な深い学びの研究と実践	スクールガイド巻末の「学習状況・特別活動出席確認一覧表」の活用を、本人および保護者に通知して定着を図る。	「学習状況・特別活動出席確認一覧表」の活用が十分できた…A 概ねできた…B あまりできなかった…C	B	B	学習状況確認表のさらなる活用を進めるとともに、ICTを活用した学習活動の提供とその構築を目指す。	生徒が意欲的に学習に取り組めるように、工夫や改善が見られる。さらに、一人ひとりに対する指導の充実を図ってほしい。また、実践的な教員研修を通して、「主体的・対話的な深い学び」を推進してほしい。
	ICT活用のための研修を計画・実施し、生徒の学習活動に活かす方法を研究する。	ICT活用のための研修が十分できた…A 概ねできた…B あまりできなかった…C 〔昨年度：2回実施〕	A 6回実施			
キャリア発達・進路実現を促す活動	生徒に対応したキャリア発達の支援ができるように、ホームルーム活動・特別活動を計画・実施する。	ホームルーム活動・特別活動の実施が、十分にできた……A 概ねできた ……B あまりできなかった ……C	A	A	教務部・進路部で連携してホームルーム活動を充実し、生徒が進路実現の意識を持てるようにする。同時に、生徒の活動意欲を高め、検定試験を積極的に受検できるようにする。	生徒の実態に応じた取組が展開されている。生徒一人ひとりの特長を把握し、その強みを伸ばして進路実現をいっそう図ってほしい。具体的な情報の提供を通して、目標の設定、取り組み方の見通しを持たせるとよい。
	検定試験等の資格取得者、コンクール等の応募者、模擬試験の受検者数を増やす。	「資格取得・応募・受検した」生徒数が、昨年より増加した ……A 昨年度とほぼ同じだった…B 昨年度より減少した ……C 〔昨年度：のべ35人〕	A のべ75人受験 前年比2.1倍			
開かれた学校、地域との連携・協働	学報とホームページを連動させて生徒への情報提供を行い、保護者との連携を図る。	学報とホームページ、保護者との連携が、十分にできた……A 概ねできた ……B あまりできなかった ……C	B	B	学報とホームページの連動を図り、学報による情報提供の充実を図る。また、ICTを利用した学習支援のあり方、地域資源(人材・教材)の活用に関する研究を進める。	『コレスポンド通信』や学校ホームページを通して、積極的に発信が行われている。今後も、さらに情報提供を進めてほしい。生徒自身の手で教育活動をPRできる場があるとユニークで良い。
	ICTを活用することで面接指導や特別活動に生かすことのできる地域資源がどれだけあるかを調査・研究する。	調査・研究が十分にできた…A 概ねできた…B あまりできなかった…C	B			
心身の健やかな成長	体育のスクーリング・体育的行事で、ラジオ体操を継続的に指導し、基礎体力の向上を図る。	アンケートを実施。体力が、ア)十分に向上した。イ)ある程度向上した。ウ)向上しなかった。 ア)＋イ)が80%以上ならA、80%未満50%以上ならB、50%未満ならC。 〔昨年度：93.7%〕	A 80.7%	A	体育だけでなく、遠足・レクリエーションなどの特別活動においても、さらなる体力の増進が図れるように計画する。	心身の健やかな成長を促してほしい。中でも、メンタル面での支援の充実にいっそう力を注いでほしい。学校行事や部活動を通して、心身の成長につなげてほしい。
豊かな人間性・社会性の育成	外部の人的資源について、利活用を積極的に行い、生徒の社会的成長を支援する。	外部の人的資源の利活用が、積極的にできた……A 概ねできた ……B あまりできなかった ……C 〔昨年度：のべ13人〕	A のべ15人	A	講演会や生徒支援で外部資源を利活用できた。今後も、さらなる活用を進める。一方、生徒間のコミュニケーションも充実が図れるように工夫する。	組織的に丁寧をサポートしていることがうかがえる。協同することを通して、対人面での自信や社会的なスキルを身につけていける。良好な人間関係を構築できるように、引き続き豊かな人間性・社会性の育成に努めてほしい。
	クリーン運動等において、教員から生徒へ積極的に声をかけ、生徒が自らコミュニケーションを図れるように支援する。	生徒にアンケートを実施する。 よくできた…A 概ねできた…B できなかった…C 〔新規調査項目〕	A 92.2%			